

繰り返し模様のデザイン 「生き物はどうやってタイリングパターンを作るか？」

日時：3月8日（金）19:00～21:00（21:00より懇親会）

場所：東京ガーデンテラス紀尾井町_17階

ヤフー株式会社 オープンコラボレーションスペース「LODGE」

演者：金沢大学 新学術創成研究機構 佐藤 純

イベントの概要：

生物学と数学を融合させることは好奇心を刺激するだけでなく、様々な新しい技術の創出が期待されます。このイベントでは最新の研究成果を分野外の方々に紹介し議論しますが、生物や数学がほとんど分からなくても十分理解できるのではないかと思います。聴衆としてはIT関係者だけでなく、生物系・数学系の研究者、生物や数学に興味のある高校生が対象となっています。

講演要旨：

全く同じ模様が繰り返し配置されたタイリングパターンは、エッシャーの作品などの人工的なデザインにかぎらず、自然界の様々な場面でも見られます。例えばミツバチの巣、アルマジロのうろこ、昆虫の複眼など。物理的には六角形の方がより自然で安定であると言われていますが、生物は六角形でも四角形でも、誰が命令したわけでもないのに、自発的にこのようなタイリングパターンを作り出します。このイベントでは、様々なタイリングパターンを示すショウジョウバエと数理モデルを組み合わせて、生き物がタイリングパターンを作る仕組みを明らかにします。

参加される方は以下より参加登録して下さい（定員100名）。

<https://goo.gl/forms/eSGrTKUDaiVv67XR2>

